

編集後記 エイプリルフル

4月1日は、嘘をついても良いとされるエイプリルフル。
不思議な風習(?)ですが、嘘をついていいのは午前中だけで、
午後にはタネばらしをすることがエイプリルフルのルールだそうです。

過去にはBBC(英国放送協会)が、ビッグベンの時計がアナログからデジタルに変更されると
4月1日に放送したり、東京新聞が地方競馬のレースにシマウマが登場するという記事を4月1日に
掲載したりとか、予想以上に世間を騒がせた年もあったようです。



アヴェニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail avenir4you@gmail.com



お世辞や謙遜もウソといえウソ。でも、**ちょっとしたお世辞や謙遜は社会で生きていくには必要**です。
時としてありのままを伝えたり、思ったままを口にする事で相手を不快にさせたり、かえって
信頼を失ってしまうことも現実にはまますからね。

生来能天気な僕は子どもの頃から思ったことをすぐ口にしてしまうことがあって、思い起こせば
僕の不用意な言葉で人を怒らせてしまったことが何度もあったように思います。(>_<)

大学を出て会社に入って3年目くらい(僕もいい歳だったはずなのですが)の頃、職場で「〇〇さん(新人
の女性)が誰かに似ている」という話になったことがありました。本人を前にして、他の人は女優とかアイドル
歌手とかの名前を言っていた中、僕は「マシュマロマンに似ている」と言って、その場の雰囲気を凍らせて
しまいました。マシュマロマンとは、映画「ゴーストバスターズ」に出ていた、モコモコした白くて巨大な
モンスター。その女性はそれから僕とはまともに口をきいてくれなくなりました。
その日が4月1日だったら言い訳もできたのにと、僕の苦い苦しい思い出です。



マシュマロマン
知らない人は検索してみてください



最近、人材の確保と従業員のモチベーションの向上を主たる目的とした「賃上げ」が話題に上がっています。
扶養の範囲で働くパートさんの多い会社では時給を上げることによって、11月~12月の繁忙期に勤務時間を
減らしたいというパートさんが例年以上に増えることが予想されます。そうすると今よりもっと深刻な人手不足
に陥りかねないという懸念もあって、賃上げには慎重にならざるをえない会社も多いようです。

賃上げで離職を防いだりモチベーションを上げたりすることができても、その効果はきっと一過性のもの。
賃上げ以外にも考えるべきことはあるのではないのでしょうか。

「**ホーソン効果**」ってご存じでしょうか?ホーソンとは、ハーバード大学が「どのような作業条件によって
生産効率を高められるのか」という実験を行った際の工場の名前です。

そこで、**物理的な作業条件よりも、実験に参加した人たちが、「自分たちは注目されている」、
「期待されている」と意識するようになって生産性が向上した**という報告がありました。

脳科学者の中野信子さんは、著書「フェイク」(小学館刊)の中で、「**モチベーションを引き出したいときには、
たとえウソでも、『注目されている』『他人から見られている』という環境をつくりだすことが効果的**」
だと言っています。「**愛の反対は憎しみではなく無関心**」というマザーテレサの言葉を思い出します。



「理想」だって虚構の世界。若さは理想なので年齢に関するウソも多いのかもしれませんが。
ところで、聞くとはなしに相手の方の年齢を聞いてしまったってこと、ありませんか?

いつの頃からか、そんな時僕は決まって「えー、見えませんねー」というようになりました。
そして、その流れで「何歳位に見える?」って聞かれたら、聞いた年齢の1歳下を言っています。
大阪の方であれば、「たった1歳かい!」とか「誤差の範囲やないかい!」とか、たいがい
突っ込んでくれるので、笑いで場の雰囲気も良くなりますし、その人との距離も縮まります。

人は、現実と虚構の間を行ったり来たり迷って失敗もしながら、「大人」になっていくのだと思います。
あのマシュマロマンの時からずいぶん時間がかかったけど、僕も少しは大人になった気がします。
エイプリルフルだったらって思うことも無くなりましたからね。(^o^)v

